



## ESD日米教員交流 米国教員訪問団来町

6月25日(土)より29日(水)まで4泊5日の日程で、ESD日米教員交流米国教員団の一行12名(内担当者1名、通訳1名)が来町しました。

一行は25日(土)の午後に来町し、役場において歓迎のセレモニーの後、ホームステイ家族と対面しそれぞれの家庭に分かれました。ホームステイを受け入れて下さった家庭にはご協力本当にありがとうございました。

26日(日)は、ホームステイの各家庭でクルージングに行ったり、サーモンパークに行ったりと思いの1日を楽しんだようです。

夕方は今回の宿泊旅館である、八木浜の「まるみ」に集合しました。1泊2日でしたが、別れが大変つらかった家庭もあったようです。

27日(月)は、春松幼稚園、春松小学校、羅臼高校を訪問しました。

春松幼稚園では、まずはじめに、幼稚園で行われているESDに関連した活動についての説明を受けました。その後遊戯室で全園児の歓迎を受け、それぞれの教室で朝の会を見学しました。朝の会が終わると、園児たちとすぐ前の海岸まで散歩に行きました。海岸では、園児たちの活動を見たり、いっしょに活動したりして過ごしました。

春松小学校では、体育館で全校児童による歓迎のセレモニーが開かれました。米国の先生方の自己紹介や児童による歓迎の言葉がありました。その後、各学年に1~2人ずつ分かれて総合的な学習の授業参観をしました。高学年の学級では、英語で



2016.6.25 in Rausu



自己紹介をしたところもあったようです。授業の後は、子どもたちといっしょに給食をとることができました。

羅臼高等学校では、金澤指導主幹の「野外観察」の授業と英語の授業を参観しました。英語では、グループ別に知床の魅力についてプレゼンテーションが行われ、続いて米国の先生方がグループに混じってディスカッションを行いました。

先生方も生徒たちも楽しみながら真剣に会話をし、生徒たちは「生きた英語」を体感することができました。

その後、ビジターセンターを見学し、知床の四季のビデオを見たり、展示物などの説明を聞いたりしました。ビジターセンターで売っているグッズを買う方もいました。

28日午前中は、羅臼中学校を訪問しました。羅臼中学校では、知床財団スタッフによるクマ学習を見学し、熊に出会ったときの実際の対処方法に生徒といっしょに参加したりして興味深く授業の様子を見学していました。授業後は、給食を食べながら英語の先生方と会話を弾ませていました。

午後からは、郷土資料館の見学とアイヌのムックリづくり体験をしました。夜には、歓迎晩餐会が催されました。

歓迎晩餐会には、町長・副町長をはじめ学校の先生方とホームステイの家族の方も参加し、食事をしながら日本語と英語が複雑に入り交じった楽しい会話が弾み、羅臼側の参加者による「知床旅情」の大合唱で名残を惜しみつつ会を閉じたのでした。

役場での顔合わせの前は、お互いに不安そうな様子をしていました。しかし、相手が目の前に現れた瞬間にそれも吹っ飛び、遠方の親戚を迎えるような華やいだやりとりが役場庁舎の大会議室で繰り広げられました。

翌日、別れるときには、それぞれに別れを惜しみ、中には涙を見せる人もいたほどです。異文化交流に於いて人と人との交流がいかに大切かということを感じました。



29日は、いよいよ羅臼を離れる日です。訪問団は、この日は峠を越えて斜里町の2つの学校(知床ウトロ小学校・斜里高校)を訪問して予定通り東京へと向かいました。東京では、今年度訪米した日本の先生たち10名と合同会議をもって協働プロジェクトや学校間交流について話し合ったと聞いています。

## ネットトラブル予防授業



春松中学校



羅臼中学校

夏休みを前にして町内2中学校でネットトラブル予防授業が行われました。

羅臼中学校は、それぞれの学年で道徳の時間で取り上げ情報機器の取扱方、不正アプリや誹謗中傷など各学年に応じた内容で学習しました。

また、春松中学校では、「情報モラル・情報セキュリティ教室」として東京にある独立行政法人情報処理推進機構より講師の方をお招きし、保護者の方にも一緒に聞いていただきました。パソコンやスマホの他にも、音楽機器、ゲーム機などでもネットにつながっています。知らないうちに被害者や加害者にならないために気をつけなければならないことを教えていただきました。

講演の後、講師の方とお話をしている中で、「姓名判断」や「占い」などはとても危険です。自分の名前や生年月日を入力することもあり、個人情報をおまかせすることになります。

確かに危険だという思いがほとんどなく自分の個人情報を伝えるケースです。

そう考えると、自分は絶対に大丈夫とは言えないと考えさせられます。(羅中・春中ともブログより)

春松中学校で講演のあった夜は、公民館で大人向けの「情報モラル・情報セキュリティ教室」講演も行われました。

参加者は20人前後と少なかったのですが、内容については大変中身が濃く役に立つものでした。また、私たちも改めて考えさせられる内容でした。知らないうちに自分たちの個人情報を何気なくネット上に流していることもあるということでした。

ご家庭でも、お子さん方にスマホや携帯・ゲーム機器など預けっぱなしにしないで親として責任を持って管理していく必要があることを強く考えさせられました。今一度、お子さんとこれらの機器についての使い方をお話し合いになってはいかがでしょうか。

## 不審者対応指導 (20日～春松小学校)

子どもへの声かけ等の不審者情報に関する件数は、ここ中標津署管内では、そんなに多くはないようですが、道内では、今年に入ってからすでに300件を超える件数が発生しているそうです。

不審者とは、どのような人なのか知り、不審者に会わないようにするために、不審者に会ったらどのように対応するかなどを子どもたちと一緒に確かめました。

不審者への対応の原則は、「いかのおすし」という標語で伝えました。

いか・・・ついていかない  
の・・・(車に) のらない

お・・・大声でさけぶ  
す・・・すぐになげる

し・・・しらせる

です。ご家庭でもお子さんと何度でも確かめていただければと思います。

防犯対策としては、  
○人気のないところには行かない  
○暗くなってから外に出ない  
○一人で歩かない

ことです。

不審者のことを考えていると、人を信じられなくなってしまいそうですが、近所には、子どもたちを見守ってくれている人がたくさんいるということも話しました。

町の防犯基地として子ども110番の家や110番の店があります。この数は、羅臼町全体で、120件もあるそうです。

この他にも、日頃から子どもたちの様子を見守ってくださっている方はたくさんいます。

子どもたちには、日頃から地域の人へ挨拶をし、広く顔を知ってもらえるようにしましょう、日頃の見守りに感謝しましょうというお話もしました。

顔見知りの人が増えるだけでも防犯につながります。地域の人が見ていてくれるから安心して家から学校までの道を歩くことができます。

子どもたちには、不審者への対応と同時に地域での安全な領域を増やすことができればと思います。

(春松小学校ブログより)

公民館ロビーにて、7月16日(土)より8月16日(火)まで「夏休みだ！ 本を読もう!! 図書室へ行こう！」課題図書展が開催されています。

絵本は、妖怪お化け編、ユーモア編、食べもの編に分かれておもしろそうな絵本がたくさん展示されています。

課題図書の心では、今年の青少年読書感想文コンクールの課題図書が、小学生、中学生、高校生に分かれて展示されています。

また、北海道青少年のための200冊の本もたくさん展示されています。

夏休みは、お子さんがじっくりと本を読むにはいい機会です。是非、お子さんが図書室に足を向けられるようお声がけをよろしく願っています。

展示している本は、すべて借りることができます。

展示している本以外にも図書室にはたくさん本があります。読みたい本について図書室にいる司書の方に一言声をかけていただくともうれしいです。

「本は頭の栄養だ！」

## 羅臼小2年生 町たんけん

羅臼小学校の2年生が、11日

町たんけんの学習で図書室に来てくれました。

図書室では、司書さんに図書室の本の並び方やどのような本があるのか、司書さんはどのような仕事をしているのかなどの説明を受けた後、実際に図書室の中を見学して歩きました。

その後質問の時間があり、「2年生におすすめの本は何ですか」、「かもめ号がないときはどんな仕事をしていますか」、「一番古い本は何ですか」、など班ごとにたくさんの質問をしていました。

# おめでとうございます

中体連全道大会出場

羅臼・春松合同チーム

(女子バレーボール管内大会優勝)

剣道女子 石崎 椋さん

(女子個人管内大会優勝)

剣道男子 小林 岳飛君

(男子個人管内大会3位)

中体連全道大会は、7月29日からバレーボールは苫小牧市、剣道は、札幌市で行われます。全道大会での健闘を祈ります。



町長を表敬訪問したときの写真です。

※ 子どもたちは楽しい夏休みのまっただ中です。日々の生活はどうでしょうか。夏休みに出された宿題などは早めに済ませてしまいたいものです。また、この機会を利用しての家族旅行などを計画されているおうちもあるのではないのでしょうか。※ 始業式には元気な顔で、登校・登園してほしいものです。